サイバーセキュリティ

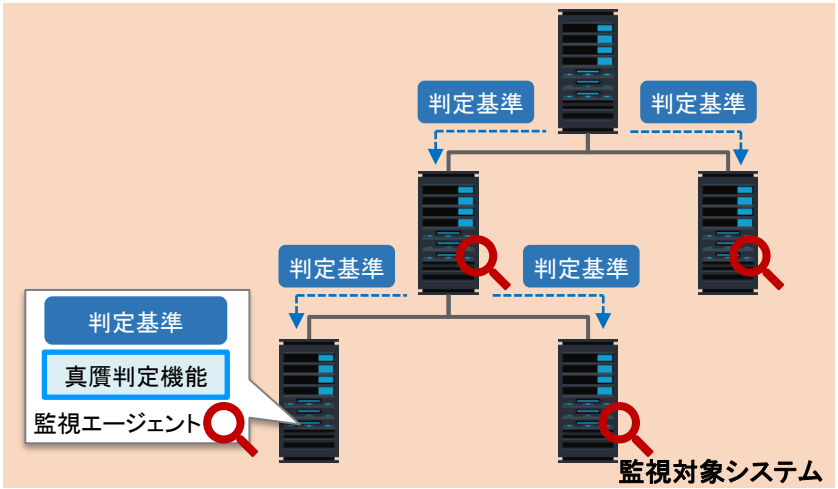
サイバー攻撃は年々増加しており、加えてその手法は複雑化・巧妙化しています。NTT研究所では、安心・安全な社会の実現に貢献するためのサイバーセキュリティに関する研究開発を進めています。

「真贋判定技術」は機器内部のファイル改ざん検知により異常を検出し、システムの安全性を確認する技術です。機器にインストールされた監視エージェントが判定基準（機器の正しいソフトウェア構成）を確認して、意図しないファイル改変を検知します。また、各機器はTPM*などのセキュリティモジュールを活用して信頼の連鎖を構築し、真贋判定の基準となる判定基準を安全かつ効率的に伝搬・共有します。これにより、システムを構成する機器が多数になっても、効率的な監視を実現します。

「通信分析によるセキュリティ異常検知技術」は、通信分析により多種多様な機器が接続されたシステムの安全性を確認する技術です。ネットワーク内を流れる通信から正常時の通信パターンを学習し、攻撃通信などによって通信パターンが正常時から一定以上変化した時に異常として検知します。

* TPM: Trusted Platform Module

●真贋判定技術



●通信分析によるセキュリティ異常検知技術